

3

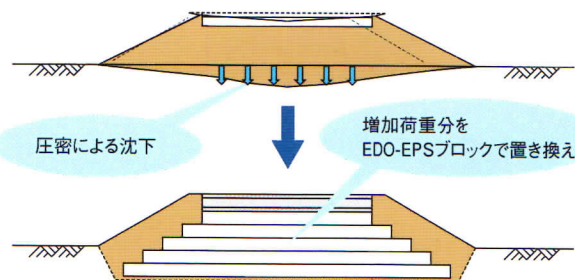
EDO-EPS工法の施工例

■ 軟弱地盤の対策



軟弱地盤上の盛土は地盤沈下の要因となります。増加荷重となる交通荷重と盛土荷重を軽量なEDO-EPSブロックを併用して置き換えることで、現地盤への荷重増加を抑え、沈下防止に効果があります。

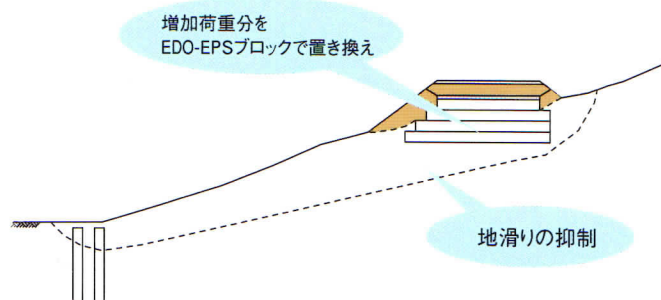
地下水位が高い場合は、浮力低減ブロックを用いて浮力対策を行うことができます。



■ 地滑りの対策



地滑り地盤頭部への盛土は、地滑りの誘発要因となります。増加荷重となる盛土荷重を軽量なEDO-EPSブロックを併用して置き換えることで、現地盤への荷重増加を抑え、地滑りの誘発対策を行うことができます。



3

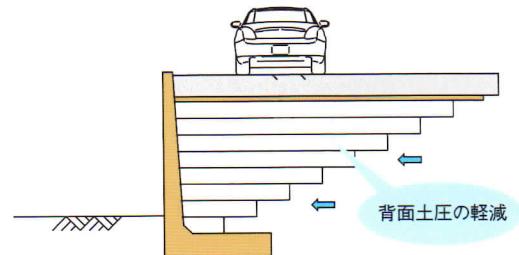
EDO-EPS工法の施工例

■土圧の軽減対策



擁壁や橋梁橋台などは、背面盛土により滑動や転倒を起すことがあります。

背面盛土の埋め戻しにEDO-EPSブロックを併用することで、構造物の滑動や転倒防止対策を行うことができます。構造物をコンパクトにすることができるため、トータルで経済的です。



■上載荷重の軽減対策



橋梁や建物の構築に伴い、支持地盤の支持力が不足する場合があります。

EDO-EPSブロックで埋め戻しをすることにより、上載荷重の低減が図れ、必要支持力の軽減対策を行うことができます。

